

第 39 回 自然史標本データ整備事業による標本 情報の発信に関する研究会 「新しくなったS-Netシステムの紹介とデータベース連携」

2022年 6月25日(土) 13時30分～15時30分

主催: 国立科学博物館

協力: NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク

注意事項

- ・可能であれば、ご自身の名前を正しくご表示ください。
- ・発言時以外はマイクとビデオをオフにしてください。



生物標本

＝ある生物がいつ、どこにいたかを示す物的証拠
＝さまざまな形で利用できる資源（研究・展示...）

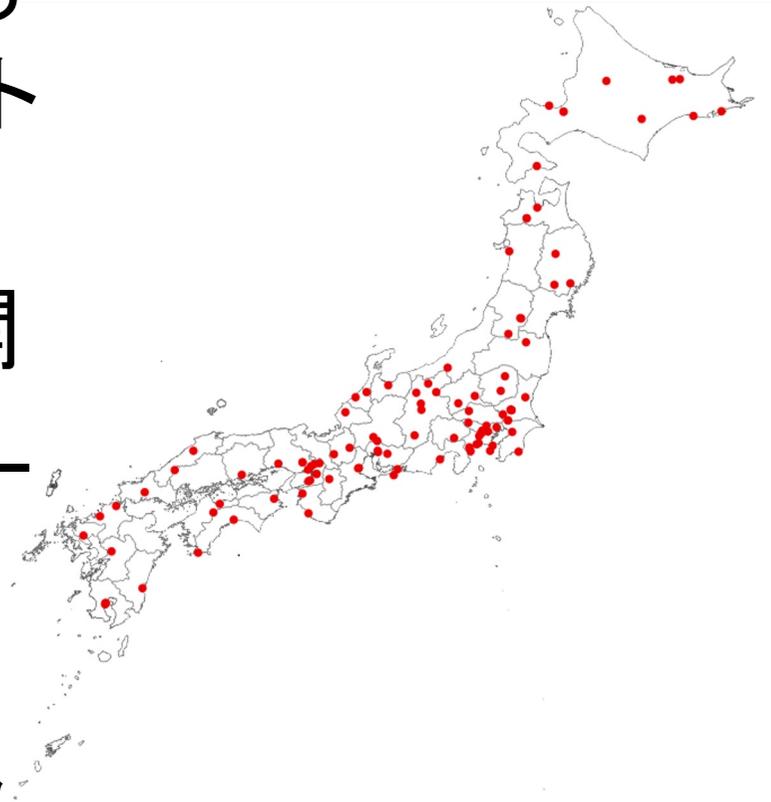
生物多様性情報とは？

おもに「種の多様性」に関するデータ
分類学的な情報が中心

- 分類群に関する情報（種名、上位分類群...）
- 分布に関する情報（標本、観察データ...）
- 種に関する情報（特徴、分布...）
- マルチメディア（画像、動画、音声...）
- 塩基配列（DNAバーコード...）

サイエンスミュージアムネット (S-Net)

- 国立科学博物館が運営する
自然史標本データ共有ネット
ワーク
- 博物館・研究所など109機関
- 機関・標本・学芸員等のデー
タを収集・公開
- 国内の生物多様性情報を
収集するプロジェクトの一部



参加館の所在地

標本情報の集積がもたらすこと

- 財産目録
 - 今後の資料収集方針の参考(ギャップを知る)
- 非公開の収蔵品の一般公開方法
 - デジタルアーカイブ
- 研究での活用
 - 研究用の資料を探す
 - データそのものを解析する →データの横断利用
- 実用的な活用
 - 展示、保全政策... →社会実装

2022年4月 2つの節目

- 文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクト(NBRP) 第5期の開始
 - 分担機関の交代
 - 活動の拡大
- S-Netシステムの更新
 - ロゴマークもリニューアル

神保の発表1

神保・水沼の
発表



サイエンスミュージアム ネット
Science Museum Net S-Net

S-Netシステム更新



サイエンスミュージアム ネット
Science Museum Net S-Net

English



全国の自然史系博物館の標本情報がここにあります

What's New

2022/6/10 6月27日（月）8時頃～17時頃までメンテナンスのため、サービスを停止します。ご迷惑をおかけします。

「サイエンスミュージアムネット（S-Net）」では、全国の自然史系博物館等が所蔵する「自然史標本」の情報、各機関の標本が種類ごとにまとめられている「コレクション（データセット）」の情報、そして、自然史系の博物館・研究機関の「研究員・学芸員」の情報が検索できます。「機関・データセット一覧」にはご協力いただいている機関と提供されたデータセットがリストされています。

[機関・データセット一覧](#)

自然史標本情報 データセット 研究員・学芸員

全ての機関 ▼

キーワードを入れて検索

キーワードが含まれている自然史標本情報を検索します。

AND検索：キーワード間に空白 例) 「Canis ニホン」 → 「Canis」と「ニホン」の両方を含むものを検索

OR検索：キーワード間に「+」か「|」 例) 「Canis+ニホン」、「Canis|ニホン」 → 「Canis」または「ニホン」を含むものを検索

NOT検索：キーワードの前に「!」 例) 「!Canisニホン」 → 「Canis」を含み「ニホン」を含まないものを検索

フレーズ検索：キーワードを「"」で囲む 例) 「"Canis lupus"」 → 「Canis lupus」を含むものを検索

「自然史標本情報検索」では動植物や化石の標本情報を検索できます。

「詳しく検索」では学名、和名、採集した年月日、採集場所の地名などで絞り込んだ検索ができます。

一覧で並び替えを行うには10万件以下、採集場所の地図表示を行うには2,000件以下、

検索結果のダウンロードを行うには5,000件以下になるように検索結果を絞り込んでください。

🔍 検索

[詳しく検索](#)

さまざまな環境の変化

- オープンデータ
 - 生物調査データ公開の推進
- データの分野横断的利用
- デジタルアーカイブ
 - 博物館法の改正
 - 標本データ等公開の推進

松前さん・齋藤さんの
発表



日本のデジタルアーカイブを探そう



教育・商用利用可を検索

教育や商用目的で素材として自由に利用できる資料を検索します



オンライン資料の検索

Web上で閲覧できる資料に絞って検索します



ギャラリー

連携コンテンツを様々な切り口で紹介します



利用ガイド

ジャパンサーチの使い方をご案内します



利活用事例

ジャパンサーチを使った授業やイベントなど、様々な場面での活用事例を紹介します



連携機関一覧

ジャパンサーチと連携している機関の一覧です

プログラム

- 開会挨拶・注意事項 神保 宇嗣(国立科学博物館)
- 第5期NBRPにおけるJBIFおよびS-Netの活動方針
神保 宇嗣(国立科学博物館)
- 新S-Netシステムの紹介とデータ提出時の注意事項
神保 宇嗣・水沼 登志恵(国立科学博物館)
- 休憩
- 遺伝子データの世界から博物館データの世界へアクセスする 松前 ひろみ(東海大学)
- 大学学術資料の公開と活用: 領域を横断して資料を活用してもらうには 齊藤 有里加(農工大)

お願い

- 可能であれば、ご自身の名前を正しくご表示ください。
下部のタスクバーで[参加者]をクリックして[参加者]ペインを開き、参加者名の右側をクリックし、[名前の変更]を選択して名前を変更します。
- 発言時以外はマイクとビデオをオフにしてください。
画面の下にマウスを動かすと、下のタスクバーが表示されます。タスクバーの[ミュート]および[ビデオの停止]をクリックし、マイクをミュートに、カメラをオフにすることができます。
- 質問は挙手もしくは[チャット]でお知らせください。
「送信先」から「全員」を選び、「ここにメッセージを入力します・・・」に入力して送信してください。
- 参加者側での録音・録画はご遠慮ください。



注意事項

- 質疑応答は、個別講演の後、およびすべての講演が終わった後に行います。
- 本会合では事務局側で一部講演等を録画しますので、予めご了承ください。録画された動画は対象者・期間限定で公開される予定です。公開の方法等については後日決定し、公開をする場合は改めてご連絡いたします。
- 休憩の際には、一旦退室せず、マイクとビデオをオフにしたままでお待ちください。
- 画像や音声途切れなど、インターネット接続が最適でない場合は、カメラの電源を切る、Zoomの再起動、PCの再起動等を試みてください。